



黄金の森

2024年 11月 11日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第14号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

『信用』『信頼』される人になりましょう！

生徒の皆さん、11月も中旬となりました。一人ひとりの頑張りで、素晴らしい合唱コンクール、楽しい修学旅行を無事終えることができました。次は、来月総合文化発表会が行われます。その発表会でも、普段の学習の成果を自信を持って披露してください。いつでも、生徒一人ひとりが輝き、居心地の良い学校づくりに、生徒・職員・保護者・地域みなで力を合わせていきましょう。

「信用」と「信頼」の違いとは？

「信用」と「信頼」は似たような意味で使われることがありますが、ニュアンスに違いがあります。

○ 「信用」とは？

「信用」とは、英語でいうと、クレジット(=credit)です。主に「その人が過去にどうだったか」を元にして、その人がこれからも信頼できるかどうかを考えます。

例えば、あなたが仕事で困っているとき、友達から「〇〇はちゃんと仕事をやるから、あなたの仕事を手伝ってもらったらいいよ」と聞いたとします。君はその友達が言ったことを信じて、〇〇さんに仕事を手伝ってもらおうとするでしょう。それが「信用」です。

つまり、その人が過去にちゃんと仕事をしてきたという実績があるから、これからもそうだろうと考えて信じるわけですね。

○ 「信頼」とは？

「信頼」とは、英語でいうと、トラスト(=trust)です。もっと感情的なつながりが関係しています。相手に対して「頼りにしている」とか「この人なら大丈夫だと思う」と感じることです。

例えば、友達が困っているときに、「何があっても助けてあげたい」と思うことがあると思います。あなたは、その友達のことをよく知っていて、何かあったときに頼りにしているなら、自然とその人に信頼を置きます。これが「信頼」です。

○ まとめ

「信用」、その人の過去の行動や実績に基づいて判断するもの。

「信頼」、感情的なつながりや期待に基づいて、その人に頼ること。

どちらも人間関係ではとても大切なものです。「信用」は実績や評価に、「信頼」は感情や期待に基づいているのです。

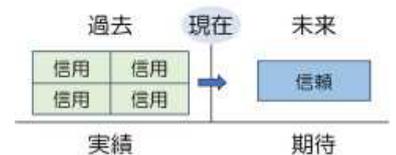
「信用」や「信頼」を得るためには、日々の行動や態度が大切です。

その「信用」と「信頼」される人になるための具体的な方法を紹介します。

○ 「信用」されるためには

約束を守る

小さな約束でも守ることが重要です。例えば、友達と約束した時間に遅れずに行く、やるべきことはちゃんとやるといったことです。



誠実に行動する

嘘をつかず、正直に振る舞うことが信用を築く基本です。自分の意見や感情に対しても誠実であることが大切です。

誠実

責任を持つ

自分がしたことには責任を持つことが重要です。ミスをしたときには謝り、次回に生かすよう努力することが大切です。

信頼できる情報を提供する

他人にアドバイスをするときや情報を伝えるときには、正確で信頼性の高い情報を提供するよう心がけることです。

一貫性を保つ

行動や言葉に一貫性を持つことで、周りから「この人はブレない」と思われ、信用されます。

○ 「信頼」されるためには

親切で思いやりのある態度

他人に対して親切に接し、思いやりのある行動を取ることで、信頼を築くことができます。困っている人に手を差し伸べることや、相手の気持ちを理解しようとする姿勢が大切です。

聴く姿勢を持つ

他人の話をよく聞くことは、信頼関係を築く上で非常に重要です。相手の話に関心を持ち、理解しようとする姿勢を示しましょう。

感謝の気持ちを示す

人が自分に対してしてくれたことに対して、感謝の気持ちを表すことは信頼関係を深める助けになります。

サポートを提供する

助けが必要なときにサポートを提供することで、相手は自分を信頼しやすくなります。困ったときに頼りにされる存在になることが信頼を築くポイントです。

共感と理解を示す

他人の立場や感情を理解し、共感することは、信頼される人になるために大切です。相手の気持ちに寄り添い、サポートする姿勢を持つことが信頼を築きます。

○ まとめ



Trust

「信用」、約束を守る、誠実である、責任を持つ、一貫性を保つなどの行動から築かれるもので、他人から「信じられる」と思われるためのものです。

「信頼」、親切で思いやりがある、相手の話をよく聴く、感謝の気持ちを示す、サポートを提供する、共感するなど、感情的なつながりを作ることで築かれます。

両方の要素を意識して行動することで、より良い人間関係を築くことができます。

この二つのどちらが大事なのかというと、どちらも大切です。

過去の実績や経験等、わかりやすく見えやすい「信用」の基準に比べ、「信頼」は基準がありません。未来への投資とも言えるでしょう。基準がないのであれば、自分の中で基準を作っていくのです。自分は優しい人を大切にしたいとか、夢を追いかける人を応援したいとか、基準は何でもいいのです。自分のこだわり、好き嫌いを明確にすることによって信頼の基準が生まれ、相手との信頼関係が育まれていくでしょう。



校長クイズ

- 1 秋になると県外に行ってしまう都道府県はどこ？
- 2 切るとどんどん実の数が増えていく果物は何？

前号クイズの解答

- 1 ハロウィン
- 2 真鯛